

# ニコピン音楽祭

## ~情熱のサクソフォン・ブラザーズ~

### サクソ・アンサンブル BULL (Saxophone Ensemble BULL)



2010年結成。東海地方を中心に活動している、サクソフォン×5・打楽器×1からなる編成の男性6人グループ。音楽大学の講師、有名ミュージシャンのサポートメンバー、オーケストラでの客演ソリスト、ロックバンドメンバーなど多彩なジャンルで活動しているメンバーが在籍。各自の専門性を活かして、クラシック・ジャズ・ポップスなどジャンルレスなコンサート活動を展開している。

愛知県春日井市では若手音楽家支援事業の第1期生オーディションに合格。ホール公演、愛知県内の小中学校へのアウトリーチ活動の他に、参加型の演奏体験や音楽理論を駆使したアレンジ曲制作など幅広い分野で活躍中。メンバーそれぞれの個性を活かして、コミカルに音楽の楽しさをアピール、軽快なトークなどで場を盛り上げる事を得意としている。



#### 川地 立真 (かわち りゅうま)

愛知県春日井市出身。15歳からサクソフォンを始める。人と違う人生を歩みたいという理由で名古屋音楽大学音楽へ特待生で入学。名古屋音楽大学を卒業、名古屋音楽大学大学院音楽研究科器楽専攻を主席で修了。岐阜国際音楽祭コンクールに於いて最高位受賞。同時に岐阜市長賞、文化人特別賞を受賞。後に開催されたフェスティバルコンサートに招待出演。あいちトリエンナーレ祝祭ウィーク事業、東日本大震災をモチーフにしたバレエ「OASIS」の世界初演に参加。後に名古屋市市民芸術祭特別賞を受賞。



#### 三輪 一登 (みわ かずと)

愛知県名古屋市出身。高校より吹奏楽部でサクソフォンを始める。2008年に名古屋芸術大学器楽科弦管打コース卒業。東海ピックバンドジャズコンテストにて最優秀ソリスト賞の受賞をはじめ数々の賞を受賞。2018年にJAZZ JAPANに記事も掲載されたジャズバンドQuinKranzのメンバーとして1stアルバムをリリース。現在は東京名古屋大阪を中心にツアーを展開している。自身がリーダーを務める「カズトレインSaxQuartet」ではベビーカーコンサートや下呂温泉水明館でライブを実施、老若男女から愛されている。全国のジャズフェスにも参加し、楽しいトークとパフォーマンスで人気を博している。社会福祉法人「よつ葉庄内ハッピーダンスクラブ」にて「ぼんど真ん中祭り2022」に参加。演舞楽曲の作曲を担当し健闘賞、SNS大賞を受賞。



#### 石川 貴憲 (いしかわ たかのり)

山口県下関市出身。サクソフォンを佐坂貴之、田中靖人の各氏に師事。愛知県立芸術大学音楽学部卒業。第3回ナゴヤサクソフォンコンクール若手演奏家部門において第1位。第15回大阪国際音楽コンクール木管部門において入賞。2018年リサイタルデビュー後、各地でソロ、室内楽、オーケストラの客員等の演奏活動を開始。秋吉台国際芸術村若手芸術家支援プロジェクトに採択され、ソロリサイタルを開催。これまでにソリストとして愛知県室内オーケストラと共演。客演として名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団の公演に出演。長久手市「文化の家」にて演奏、ワークショップ、アウトリーチ企画に携わる契約アーティストとして7年間に渡り活動。



#### 瀧 彬友 (たき よしとも)

名古屋音楽大学在学中の4年間を特待生として研鑽を積み同大学首席卒業後、渡仏。パリ10区ベルリオーズ音楽院を審査員全員一致の1等賞で卒業。プールラレンヌ音楽院最高課程修了。室内楽を審査員全員一致の1等賞及び特別賞を受賞。ナント国際コンクール、ヨーロッパピカルディ音楽コンクール名誉1等賞受賞を始め、国際コンクールでの入賞多数。岐阜国際音楽祭より文化人特別賞、岐阜県知事賞を受賞。竹本泰蔵指揮名古屋フィルハーモニー交響楽団とL.E.レーションのサクソフォン協奏曲を協演。齊藤一郎指揮セントラル愛知交響楽団とJ.S.バッハ(野平一郎編)のゴルトベルク変奏曲を共演。あいちトリエンナーレ2013祝祭ウィーク事業公演であるNext Spring「Oasis/火の鳥」にサクソフォン奏者として参加し、名古屋市市民芸術祭特別賞を受賞。台湾で開催された「Eurocivres」にサクソフォン講師として招聘。自身の演奏活動を展開するだけでなく、後進の育成にも力を注いでいる。



#### 大嶋 漢 (おおしま かん)

山口県下関市出身。広島音楽高校卒業。愛知県立芸術大学卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。第6回ジュニアサクソフォンコンクール入選。第30回広島市新人演奏会に出演、優秀賞に選ばれ広島プロミシングコンサート2009で広島交響楽団と共演。これまでにサクソフォンを佐藤美穂、雲井雅人、田中靖人の各氏に師事。現在、東海地方を中心に様々な演奏活動やヤマハ音楽振興会認定講師として音楽教室の指導を行っている。



#### 弓立 翔哉 (ゆだて しょうや)

愛知県名古屋市出身。名古屋音楽大学打楽コース卒業。同大学大学院修了。国内外の多数の演奏会、コンクールに出演。Avner dorman作曲の打楽器ダブルコンチェルトを日本初演。現在は中部地区でオーケストラの客演、吹奏楽部外部顧問、ドラム講師などを行う。



#### 葛原しげる (1886~1961)

「ざんざんざらざら夕日がしずむ、ざんざんざらざら日がしずむ…」

神辺町や葛原しげるを知らない人でも、この童謡はご存知でしょう。

葛原しげるは、東京高等師範学校(現 筑波大学)在学中より、作詞や童謡に興味を持ち、今も歌いつがれている数々の童謡を手がけています。

また、彼は常に「健全な児童の育成」に力を注ぎ、全国の学校の校歌をたくさん作詞しています。

「ニコピン先生」と呼ばれ、子どもは「いつもニコニコピン」と笑顔で元気であることを願い、自らもそうありたいと考えていました。